

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	スーパー（販売 企画）	販売量の動き	・ 今月は緊急事態宣言で自粛による巣籠り需要があり、客の買上点数が伸びている。その効果で売上も前年を上回ることができている。来客数は減少している。
	○	スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・ 緊急事態宣言下の学校休校に伴い、内食需要が高まり買上点数が伸長している。
	○	コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・ 来客数、売上高が増えて、前年並みになっている。
	○	観光型ホテル （企画担当）	販売量の動き	・ ホテルの3月の販売室数が前年比36%減少なのに対し、6月の販売室数は前年比23%減少と、マイナス幅が小さくなっている。
	□	コンビニ（副店 長）	来客数の動き	・ 沖縄県のみ緊急事態宣言が継続し、ワクチン接種が思うようには進んでおらず、悪天候も続いて人流も日々少なくなってきたり、大変厳しい状況に変わりにない。体力が尽きた店も目立ち、閉店している店が多くみられ客足が遠のいている。
	□	旅行代理店（マ ネージャー）	それ以外	・ 緊急事態宣言中なのでとにかく何も無い。ワクチン接種を受けた人も大分増えてきたが、ただそれだけで、景気回復にはまだ時間が掛かる。
	□	住宅販売会社 （代表取締役）	販売量の動き	・ 手持ち工事を抱えており、当面の工事高は維持している。
	□	住宅販売会社 （役員）	販売量の動き	・ 緊急事態宣言中であり客の動きは鈍い面もあるが、一方、取引件数は一定数を維持している。
	▲	衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・ 緊急事態宣言の延長のため来客数が減少している。
	▲	観光型ホテル （代表取締役）	来客数の動き	・ 緊急事態宣言の延長により、宿泊や宴会のキャンセルが増えている。前年同期よりも来客数は少なく売上も悪い。
	▲	通信会社（営業 担当）	来客数の動き	・ 感染拡大や緊急事態宣言の延長により予約のキャンセルが増えている。また長引いている梅雨も影響して客足は鈍っている。
	×	商店街（代表 者）	それ以外	・ 現在、新型コロナウイルスの影響で国や県からのもろもろの規制が掛かり、皆苦労している。新型コロナウイルスの感染が収束しない限りは景気の上向きは期待できないのではないかと。
	×	一般小売店 〔酒〕（店長）	来客数の動き	・ 新型コロナウイルスの変異株の感染が止まらない。国民全員が自粛しているため、店も7割閉めている。
	×	百貨店（店舗企 画）	販売量の動き	・ 6月は緊急事態宣言により商業施設の土日休業要請もあり、予定していた物産展の集客も中途半端となり、苦戦を強いられている。
×	その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	それ以外	・ 沖縄は緊急事態宣言も延長され、皆、資金繰りも限界にきており、飲酒やフルタイム営業を再開する店舗が増えてきている。開けている店舗はそれなりに賑わっているため、まだまだ増えそうである。ワクチン接種率が伸びてきているなか、変異株の増加でまた先がみえなくなっており、今の事業形態で政府の指示に従ってはいけず、赤字を解消できない。	
×	観光名所（職 員）	来客数の動き	・ 航空便の減便が影響している。	
企業 動向 関連  (沖縄)	◎	－	－	－
	○	食料品製造業 （役員）	受注量や販売量 の動き	・ 緊急事態宣言が延長されたが、前月に続き、前年の同期間に比べると大分売上は増加してきている。しかしながら全体的にはまだ新型コロナウイルス発生以前までは回復していない。
	□	窯業土石業（取 締役）	受注量や販売量 の動き	・ 見積りは公共工事、民間工事とも4月以降若干増加傾向であったが、今月は横ばいで推移している。
□	輸送業（経営企 画室）	取引先の様子	・ 例年であれば夏の繁忙期を念頭に新規店舗や新商品の展開、物量増加によるスポット依頼等の情報が入ってくる時期であるが特に情報がなく、企業として現状維持の判断をしているとみられる。	

	□	会計事務所（所長）	取引先の様子	・ワクチン接種が始まっているが、まだまだ新型コロナウイルス新規感染者数は多く、積極的な事業攻勢を判断することは難しい。
	▲	*	*	*
	×	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規の契約が全く止まっている。
雇用 関連  (沖縄)	◎	—	—	—
	○	*	*	*
	□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染がなかなか落ち着かない状況で、医療関係の派遣依頼は多くなっているものの、一般派遣依頼は足踏み状態である。
	□	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、求人案件が減少している。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・トータルの求人の件数に関しては変わらない。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	求人数の動き	・緊急事態宣言の延長に伴い、予定していた合同企業説明会が中止や延期となっており、採用活動に遅延がみられる。
	▲	求人情報誌製作会社（営業）	求人数の動き	・3か月前の3月は、企業の採用活動が停滞するなかでも多少復調の兆しがみえかけていたが、5～6月とまん延防止等重点措置、緊急事態宣言と続いた影響により求人数は減少している。
	▲	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・業務システム開発系やWeb系の求人は前月と変わらないか微増という状況だが、ゲーム系求人が少ないように感じられる。
	×	—	—	—